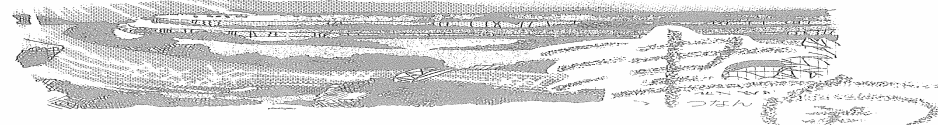




# 未来へ羽ばたけ悠久の津南町



津南町は、日本一ともいわれる雄大な河岸段丘の上に、田畑や森林が大きく広がり、信濃川が心地よい風を運びながらゆったりと流れています。この風景は、いつの時代にも私たちのところをなごませてくれるものであります。また、こうした津南町のような農山村は、単に景観だけでなく、日本にとって何物にも変えがたい重要な価値があります。国土の7割を占める農山漁村、そこには、都市への食糧供給、国土や自然環境の保全、森林の水源涵養など、非常に大きい役割があり、国民の生活を基礎から支える重要な屋台骨となっているのです。

地方自治体、特に町村は財政基盤が弱くとも、このような重要な役割に誇りとプライドを持ちながら、地域づくりに取り組んできました。人間と同じで地域にもそれぞれ個性があります。個性があるから魅力があり、面白く、また、考え方も違うのです。地域の多様性を認めず、町村の意欲と個性を削ぎ、自立と尊厳の精神を否定するような市町村再編は、やがては国土の荒廃、都市の衰退につながり、将来に大きな禍根を残すのではないかと危惧しているところです。

津南町は、今回の市町村合併に対する方向づけを新たな出発の機会と位置付け、平成15年4月から全職員で事務事業の見直し、税財政の将来予測、機構改革等を行ってきました。この報告書も全職員が自分の希望する自律推進チームに所属し、個性豊かでいきいきとした地域の実現に向け検討を重ねてきました。また、55名の町民の皆さんから策定作業にご参加いただき、職員と協働しながら時間をかけて議論を重ね、町の将来像を構築してまいりました。今後は、計画の進行管理をしっかり行い、あらゆる場面で見直ししながら、時代に即した計画にしていく必要があります。

国家財政の危機的状況を考えると、合併する、しないに関わらず、これからの自治体運営は大変厳しくなってきます。国の方針に従う合併の方が楽かもしれませんが、ただ、それで誇りのある町づくりができるでしょうか。この先も津南の地域は存続し、私たちはそこで暮らし続けていくのです。そのための地域戦略を立てて、町民の皆さんとの協働作業によって町づくりを進めていくことが大切なのではないでしょうか。この報告書はそのための一つの指針になっていくものと考えます。

小なりといえども高い志を持って、そこに自治の灯をともし、小さくてもきらりと輝く自治体にならんことを願わずにいられます。そして、これからも「町政は町民のためにのみある」ことを肝に銘じ、「津南に住んでいてよかった」、「津南を訪れてよかった」と思ってもらえるような魅力ある町づくりに取り組んでまいります。

最後になりましたが、報告書の策定に携わっていただいた、町民町づくり検討委員及び総合学習で具体的な町づくりについてご提言いただいた津南中学校3年生の皆さんに心から感謝申し上げますとともに、職員には今後も町づくりの担い手として一層の研鑽に励むことを期待します。

平成17年3月

津南町長 小林三喜男

## 目次

### 基本構想

自律に向けた町づくり基本構想	-----	1
----------------	-------	---

### 基本計画

自律に向けた町づくり基本計画	-----	2
チーム別計画		
生活環境チーム基本計画	-----	4
定住基盤チーム基本計画	-----	5
農林水産チーム基本計画	-----	6
商工雇用チーム基本計画	-----	7
観光リゾートチーム基本計画	-----	8
保育教育チーム基本計画	-----	9
文化学習チーム基本計画	-----	10
健康保健チーム基本計画	-----	11
地域医療チーム基本計画	-----	12
社会福祉チーム基本計画	-----	13
新行政システムチーム基本計画	-----	14

### 行財政改革

行財政改革の推進	-----	15
財政の見通し	-----	16

### 経過報告・町民参加

報告書策定経過	-----	18
町民参加・参画	-----	19
町づくり検討委員会組織図	-----	23